

平成 29 年 5 月 26 日

学生各位

国際課長

ラマダン月のテロについての注意喚起

5 月 27 日（土）頃から 6 月 27 日（火）頃は、イスラム教のラマダン月及びラマダン明けの祭り（イード）に当たります。

近年、ラマダン期間中に多数のテロが発生していることから、海外に滞在または渡航する皆さんは、下記の基本情報を確認した上で、最新情報の入手に努め、テロの標的となりやすい場所を訪れる際には、安全確保に十分注意を払ってください。

記

○本学の海外安全情報

<http://ignite.tut.ac.jp/cir/japanese/anzen.html>

○また、外務省から、以下の安全情報が発出されていますので、よくご確認ください（抜粋版）。

（1）5 月 27 日（土）頃から 6 月 24 日（土）頃は、イスラム教徒が日の出から日没まで断食を行うラマダン月に当たります。ラマダン終了後には約 3 日間（6 月 25 日（日）頃から 6 月 27 日（火）頃）、イードと呼ばれるラマダン明けの祭りが行われます。

（2）イスラム過激派組織 ISIL（イラク・レバントのイスラム国）は、2015 年及び 2016 年にラマダン月の間にテロを呼びかける声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、過去 2 年、ラマダン月に多数のテロ事件が発生しています。

特に昨年は、邦人を含む多数の犠牲者が出たバングラデシュでのダッカ襲撃テロ事件や、トルコのイスタンブールでアタテュルク国際空港の襲撃（45 人が死亡、200 人以上が負傷）などのテロ事件が発生しています。

また、最近では、爆弾や銃撃に加えて、車両やナイフを使用したテロや放火、窃盗など簡単に一般人を多数殺傷できるテロが呼びかけられています。

（3）本広域情報発出時点で同様の声明は確認されていません。しかし、近年、ラマダン月に多くのテロが発生していることを意識し、以下の対策をお願いします。

1. 最新の関連情報の入手に努める。

2. 観光施設や周辺の道路、イベント会、また教会やモスク等テロの標的となりやすい場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等、安全確保に十分注意を払う。

3. 金曜日に注意して下さい。金曜日はイスラム教徒が集団礼拝を行う日であり、その際、モスク

等宗教施設や群衆を狙ったテロや襲撃が行われることがあります。本年のラマダン月については、6月2日、9日、16日及び23日が金曜日に当たります。

(4) 海外渡航前には万一に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

(5) 海外滞在中の安全対策については、「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」も参照してください。

(http://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13gaimusho.html)

その他、渡航を予定している学生、教職員は、本学や外務省の海外安全情報を必ず確認してください。
本学の海外安全情報

<http://ignite.tut.ac.jp/cir/japanese/anzen.html>

外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>

○大学の緊急連絡体制

平日：0532-44-6577（国際課留学生係）

休日・時間外：0532-44-6590（守衛所）

以上